



3月の園だより

令和6年3月1日
目黒区立中町保育園園長

やわらかな暖かい陽ざしに春の訪れを感じます。

先日、おひさま組は油面小学校へ見学に行ってきました。副校長先生に案内され、1年生から6年生の教室や体育館、音楽室での授業の様子を見たり、実際に教室の椅子に座ってみたりするなど、子どもたちは学校体験にやや緊張した表情から段々と目を輝かせていました。「階段の手すりが保育園と同じだった」「バスケットボールが楽しそうだった」「字が上手だった」「1年生になりたいと思った」など嬉しそうに話し、就学への期待もさらに膨らみ、自分が小学生になった姿を思い描いているようでした。優しく、たくましく成長したおひさま組18名の子どもたちは、いよいよ卒園の日を迎えます。4歳児クラスが代表で式に参加しみんなで心を込めて門出をお祝いしたいと思います。

先月のクラス懇談会には、お忙しい中たくさんの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。懇談では、子どもたちの成長を振り返り、子育ての悩みや楽しさ、嬉しさなど保護者の皆様からたくさんのお話をいただき、1年の成長を喜び合えるひと時となりました。日頃の保育をはじめ行事の際には、保護者の皆様のご協力と温かい励ましをいただきましたことを深く感謝申し上げます。

行事予定

卒園式

お別れ遠足（3・4・5歳児）

*移動日

お別れ散歩（5歳児）

※翌日から進級するクラス

お別れ会（全園児）

の保育室で過ごします

身体計測 避難訓練

おひさま組へ インタビュー

もうすぐ卒園するおひさま組の子どもたちに保育園での思い出や小学校に行ったら楽しみなことを聞いてみました。

1. 楽しかった遊び

第1位…ラキュー 第2位…シルバニアファミリー 第3位…ドッジボール

2. 好きな給食

第1位…カレーライス 第2位…うどん 第3位…ココアクリームサンド

3. 小学校に行って楽しみなこと

第1位…体育 第2位…工作 第3位…自由研究



～こんなに大きくなりました～

もも組(0歳児) 『同じだね』

保育士と一緒に車のおもちゃを坂道やトンネルで走らせて遊んでいる友達の姿を見て、1人の子どもがやってきて手と手を合わせて“かして”と伝えています。車を持っている子どもは、首を横に振っています。「車が欲しかったんだね、先生と探しに行こう」と伝え、一緒に探し始めると、それを側で見ていた子どもが車のおもちゃがある棚に向かい、持って来てくれました。「ありがとう」と伝えると、車が欲しかった子どももお辞儀をしていました。そして、「あっ」と自分と友達の持っている車のおもちゃを指差したので、「同じだね、嬉しいね」と声をかけると、「うんうん」と笑顔で頷いていました。少しずつ友達とのやりとりも増えてきた子どもたち、これからも人と関わる喜びをたくさん感じて欲しいです。

たんぽぽ組(1歳児) 『やってみよう』

節分の大きな鬼を作るために大きな模造紙にみんなで油引きの道具を使って絵の具を塗りました。保育士が絵の具の準備を始めると「なにをするの?」とワクワクした表情でやって来ます。初めて油引きを使ったのですが長い線ができると「わぁー」と言いながら白いところを塗りつぶそうとダイナミックに描いていました。絵の具遊びを始めた頃は“やりたくない”とみんなの様子を見ていた子どもも、保育士や友達の姿を見て“楽しい”ということが分かり、自分から「やりたい」という姿につながっています。これからも子ども一人ひとりの『やってみよう』と思うタイミングを大事にしていきたいと思います。

ちゅうりっぷ組(2歳児) 『一緒に遊ぼう』

保育室で1人の子どもが「お家ごっこしよう」と友達を誘うと、「一緒にやろう」「僕もやってもいい?」と数人集まり、お家ごっこが始まりました。人形を膝に乗せ、話しかけながらご飯を食べさせていると、1人の子どもが「今日は赤ちゃんの誕生日だよ」とケーキを持って来ました。すると「ジュース持ってくるね」とジュースやコップを取りに行く子どもや「おいしいご飯持ってくる」と、ご飯を作りに行く子どもなど次々に加わり、みんなで赤ちゃんの誕生日会を楽しんでいました。好きな遊びを1人でじっくり遊ぶ姿から友達を誘い合い、一緒に遊ぶことを楽しむようになってきました。時には言い合いになることもありますが、保育士が仲立ちしながら友達とのやりとりを楽しんでいきたいと思います。

ほし組(3歳児) 『友達と協力して』

友達と一緒に遊ぶことが多くなり「氷鬼しようよ」「折り紙教えて」など、誘い合っています。こま回しでは「どうやってやるの?」「ここを持って回すんだよ」と友達同士で教え合い、こまが回せるようになると「回ったね!」と喜び合ったり、顔を見合わせて「こまって楽しいね!」と友達と楽しさを共有していました。また、「次はこうやってみようよ」と友達と一緒にこまを回す場所を積み木で作ったり、試行錯誤しながら遊びが広がっています。言葉や表情で楽しさや嬉しさ、時には悔しさなどの思いを共有し合い、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じながら、友達との関係を深めている子どもたちです。

つき組(4歳児) 『どうしたの?』

遊んでいる時に数人の友達と意見が分かれ、落ち込んでいる友達を見た周りの子どもたちが「どうしたの?」「何が嫌だったの?」「大丈夫だよ、私も一緒に遊んであげるよ」と友達の思いを聞いて受け止めながら励まそうとする姿がありました。友達と関わる中で思いが伝わる喜びだけではなく、自分と違う思いに葛藤することもありました。そういった葛藤の中で友達への伝え方だけではなく、友達の思いにも気づけるようになってきていると感じます。お互いの思いに気づき合えるように思いを言葉にしながら、友達との関わり方を一緒に考えていきたいと思います。

おひさま組(5歳児) 『みんなで話し合っ』

先日、中央町保育園と2回目のドッジボール交流がありました。本番前日に、子どもから「みんなで作戦を話し合いたい」という希望があり、全員で作戦会議をしました。作戦を考えた子どもが手を挙げ「みんなで固まるとボールが避けられないから間を空けたい」「強いボールを投げる人が外野と内野の両方にいるといい」と意見がでると、「それいいね」「でもそれはさ…」といろいろ話し合っ作戦が決まりました。本番では、作戦が的中し、見事に勝利!子どもたちは喜び合っ達成感と自信を深めていました。一人ひとりの伝えたいことをクラス全員で共有し、みんなで考え話し合う子どもたちの姿に成長を感じます。友達と過ごした保育園生活の中で心も体も健康な子どもに育ち、たくさんの期待を胸に卒園を迎えようとしています。